

サービス等利用計画案

利用者氏名	小森 あおい 様	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターこすもす
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額	0円	計画作成担当者	最上 ひかる
地域相談支援受給者証番号	1XXX###	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$		

計画案作成日	令和8年10月5日	モニタリング期間（開始年月）	（1か月）	利用者同意署名欄	
--------	-----------	----------------	-------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活）	あおいさんは、養護学校の高等部卒業後、Z市の作業所を利用し作業等に取り組んでいたが、作業内容が変更になったことや、仲の良い友人と大好きな職員が作業所を辞めたこと等から行けなくなり辞めてしまった。その後、気分の良い時以外、外に出たがらなくなった。母親と二人暮らしをしているが、母親の認知症が判明し、介護保険の訪問介護、短期入所を利用している。あおいさんは、「自分のことは自分でできるようになりたい」「兄には迷惑をかけたくない」という思いがあるが、「他の人と仲良くなれるのか」「掃除や洗濯はあまりしたことがない」とこれからのことを心配している。将来のことはまだ分からないが、一人ではいられないので「困った時に相談したい」「一緒に遊ぶ友達がほしい」とグループホームの利用と、手先の器用さを生かした活動ができる生活介護の通所を希望している。また、「Snow Manの話ができる友達がほしい」と思っている。 兄は、認知症の母との二人暮らしは難しく、あおいさんを「施設に入所させたい」と市役所に相談していたが、支援を受けながらあおいさんに合ったグループホームの生活もいいと考えている。				
総合的な援助の方針	グループホームでは、自分の身の回りのことができるように体験等を通した支援を行います。生活介護では、手先の器用さを生かした活動を取り入れ、自信につながるよう支援します。また、自分から相談できる力をつけたいという思いや、一緒に遊ぶ友達を作り、Snow Manの話をしたいという望みを持っています。将来のことは「まだわからない」「まずはグループホームと生活介護でやって行きたい」というあおいさんの目標が達成できるよう支援します。				
長期目標	生活していく上での力を身につけると共に得意な活動を続けて自信をつける。				
短期目標	好きな趣味、活動を続けながら困った時や不安な時に相談ができるようになる。				

優先順位	解決すべき課題（本人のニーズ）	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量（頻度・時間）	課題解決のための 本人の役割	評価 時期	その他留意事項
1	グループホームで、自分のことは自分でできるようになりたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯が自分でできるようになる。	6か月	■共同生活援助 当該月における日数	スケジュールを覚えて一日の暮らしのリズムを身につけます。 掃除や洗濯は、世話人さんに教えてもらいます。	1か月	
2	今は活動することに自信がないので、そのための力をつけたい。	いろいろな活動経験を積んで得意なことを見つける。	6か月	■生活介護 当該月における日数から8日を控除した日数	生活介護で、創作活動を通して、好きな手芸をしながら、できる活動を増やしていきます。	1か月	
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、日中活動のことで困ったり、不安だったりしたことを相談できるようになる。	6か月	■共同生活援助 ■生活介護 ■病院 通院 1回/4週間（土曜日） ■相談支援	グループホームで一日の出来事を報告します。 活動については、生活介護で相談します。 薬を忘れずに飲んで定期的に通院します。	1か月	
4	楽しみを見つけない。	好きな趣味、活動を続ける。	6か月	■共同生活援助 ■生活介護 ■相談支援	趣味や好きな活動等の楽しみについて話をします。	1か月	